

事務事業名	遺族会活動支援事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5005			
			所属課室	福祉課		課長名	野呂瀬毅明			
			所属担当	地域福祉		担当者名	中込裕也			
基本政策	基本計画 IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 03	項 01	目 01	細目 02	細々目 006
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業						
施策	27	地域福祉の充実		☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業						
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度)		法令根拠	☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金						
	☐ 期間限定複数年度 (年度)									
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (22年度)							
	市遺族会の活動を補助する事業		項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)							
	遺族会は県下戦没者慰霊祭、全国戦没者追悼式、沖縄甲斐の塔慰霊巡拝、全国戦没者追悼式、靖国神社参拝(隔年)、など国・県が行う事業に参加。また市主催で行う戦没者慰霊祭へも参加。市戦没者遺族大会を毎年遺族会主催で行っている。		協議会・協会・団体 437							
	会では役員会、総会、女性部等で活動内容の検討等を行っている。									
			計 437							

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	役員会・市戦没者遺族大会開催、県下戦没者慰霊祭、沖縄甲斐の塔慰霊巡拝、全国戦没者追悼式・市戦没者慰霊祭参加
23年度活動予定	役員会・市戦没者遺族大会開催、靖国神社参拝、県下戦没者慰霊祭、沖縄甲斐の塔慰霊巡拝、全国戦没者追悼式・市戦没者慰霊祭参加
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
戦没者の遺族により構成されている遺族会員	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
活動補助をする遺族会の事業により、戦没者を慰霊し遺族が精神的に慰められる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
平和の尊さや平和であり続けることの大切さを知る。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 国や県が行う平和事業数	件
イ 市戦没者慰霊祭参加数	人
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 戦没者の遺族	人
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 市戦没者慰霊祭に参加する遺族数	人
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 過去の戦争の歴史や現在の他国の	人
イ 戦争について知っている市民の数	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	468	437	429	425	425	425	
	事業費計 (A)		千円	468	437	429	425	425	425	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間	8	8	8	8	8	8	8	
		人件費計 (B)	千円	36	36	32	32	32	32	32	0
		(A)+(B)		千円	504	473	461	457	457	457	0
活動指標		アイウ	人	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0		
		アイウ	人	993.0	962.0	933.0	933.0	933.0	933.0	933.0	
対象指標		アイウ	人	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0		
		アイウ	人								
成果指標		アイウ	人								
		アイウ	人								
上位成果指標		アイ	人								
		アイ	人								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	合併以前から、町村(6か町村の内、1町は社協)に事務局があり、補助をしていたので合併後も引き続き行っている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	対象者は戦没者の遺族のため、高齢であり年々減少している。合併時は1,194人の会員数が平成22年度では962人である。今後はさらに減少、市の補助単価も財政厳しいおり減少している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	遺族会からは、会員は減っているが、市慰霊祭は継続してほしいとの要望がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	各地区の遺族会は、各支所で事務局を持って活動をしていたが、窓口サービスセンターになったことを受け、平成21年度から自主運営をお願いしている。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	各地区の総会や、各種事業は自主的に実施しており、国・県・市の事業への参加協力については、市遺族会理事会を通じ各地区遺族会へお願いしている。

事務事業名	遺族会活動支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	福祉課
-------	-----------	-----	-------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 遺族会会員が戦没者を慰霊し、精神的に慰められることは平和であり続けることの大切さを知ることにつながり、また総合計画の地域福祉の充実にも結びつく。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 国策により、遺族となった方達へ労苦を慰労することも含まれるため、行政として関与する必要がある。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 国策により、遺族となった方達へ労苦を慰労することも含まれるため行政として関与する必要があるが、高齢化し正会員が減少しているからこそ、各地での遺族会運営へ少しでも支援する必要があると適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 遺族の高齢化が懸念されるが、市民へ伝えていく役割を担っていただくことで市民への意識の啓発が図られる。
	⑤類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 国・県・市で行う慰霊事業への参加等は、遺族会との協議調整が必要のため。補助金廃止は、遺族会の存続に影響があるため。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 遺族の心情や市民への意識啓発を考えると、戦没者慰霊祭等への参加は必要なものであり、そのための補助を休止・廃止することはできない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 遺族会は会員からの会費と市の補助金で成り立っている。補助金も年々減少しているが、今までと同じ活動を維持していくため。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方・見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 職員が事務局を担っているが持続性がないので兼務している。職員でなくても事務を行うことは可能だが、ボランティアが対応すれば削減の余地はある。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 戦没者の遺族が会員となっているため公平公正。補助事業であるため受益者負担を求めるものではない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	目的に市民への意識啓発を追加し、そのための活動を推進していくことがもめられる。対象者は年々減少しているため、補助金単価、補助金も少なくなっている。そのため対象者1人に対する職員のコストは増えている現状である。6地区遺族会に自主運営をお願いしているが、会員自体が高齢化しており将来、事務を行うことが困難になる可能性がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①自主運営が望ましいが、会員が高齢化しているため自主運営は難しい。ボランティアで事務局を担う人を探す。 ②遺族会の活動は、慰霊事業への参列等が主なものになっているが、今後は遺族会対象の事業から戦争の悲惨さを後世へ語り継いでいくための事業として、小学校等へ出向く戦争の体験談等を話す事業を実施していくことが大事。 ③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①遺族会員の高齢化が進んでいるが、戦争の悲惨さを語り継いでいく上で会員の意識改革が必要であり、戦没者の孫等に会員になってもらい会の運営をお願いしていく。 ②会員が高齢化しており自らが学校へ出向くことが困難であるが、学校側や市事務局で調整対応することは可能。 ③		成果優先度評価結果	⑨																					
		コスト削減優先度評価結果	⑥																					